

としょかん つうしん

6月号

6月といえば梅雨の季節です。じめじめした雨の日が続いたり、お外で遊べなかったりで残念な気持ちになりますね。今回は雨やお天気になんで、雨の日が楽しくなるような絵本を集めてみました。

「あめぽぽぽ」

年少向け

ひがしなおこ作 きうちたつろう絵
くもん出版

雨の中を、ママと子どもと一緒に出かけです。やさしいパステル調の色あいや、たくさんの雨つぶに顔が描かれていたり、雨の日をたのしむ雰囲気がいっぱい。雨が「ぴとぴと」「さあさあ」「ぽとぽと」、砂場の上を「じゃくじゃく」、お空が「きらきら」など、いくつもの音が耳にこちよい絵本です。



「せんたくかあちゃん」

年中向け

さとうわきこ作・絵
福音館書店

洗たくが大好きなかあちゃんがありました。家じゅうのものを洗いおわると、子どもたちや犬や猫、くつやかさまで、たらいに入れて洗ってしまいます。そこへ、うすよごれたかみなりさまがやって来て…。テンポのあるお話と、おおらかなかあちゃんが楽しいユーモアあふれる絵本です。



「おじさんのかさ」

年長向け

佐野洋子作・絵
講談社

おじさんはりっぱなかさを持っていました。とても大切にしていたので、かさをさそうとしません。ある日おじさんが公園で休んでいると、男の子がやってきて…。子どもたちの歌にさそわれ、かさを広げたおじさんの様子が何ともほほえましい。「ポンポロロン」「ピッチャンチャン」の音に、雨の日にお出かけしたくなりそうです。